

連合会名

シニアクラブ浜松市

昔遊び

単位クラブの活動

事業実施主体：『西町シニアクラブ西和会』

(昔遊びの集い)

事業の概要 (1) 内容	・地域の幼児、児童、保護者、会員が一堂に会し、七夕・菊の節句などの伝統行事や風船バレー、お手玉体操など昔の遊びを楽しむ。
(2) 活動日	・令和3年4月4日、6月6日、7月4日、11月7日、 12月27日
(3) 会場	・浜松市南区西町公会堂
(4) 参加者	①交流対象者 地域の幼児、児童、父兄、会員 ②交流会参加者数 延べ 37名 ③会員参加者数 延べ 25名
(5) 講師又は指導者数	延べ 7名
事業の成果と課題	・例年通り4月から開催したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、開催は5回にとどまった。 感染を心配して、参加者は大幅に減った。

【活動の様子】



2021年(令和3年)4月3日(土曜日) [14]

自然や季節感じ昔遊びを

松島さんの遺志継ぎ集い

最近にある素材を生かして楽しむ昔遊びの伝承が、浜松市南区政府で続けられている。伝承の無い空想的なのは、今年1月に臨場デビューとなった松島伸夫さん。西原シニアクラブの前会場で、四季を通じた「遊び」を手作りする面白さを伝えられた。ゲームや動画の視聴を好む現代の子どもたちに「自然の中で季節を感じる遊びをしようよ。」と。(久下龍実)

10月18日(土曜日)午後5時から、松島伸夫さん(87歳)が、浜松市南区政府の「自然や季節を感じる昔遊び」をテーマにした「松島さんの遺志継ぎ集い」を開催した。当日は、松島さんの遺志を継ぎたいという思いで参加した。松島さんは、昔遊びの魅力を語り、子どもたちに「自然の中で季節を感じる遊びをしようよ。」と語りかけた。

大徳夫人から、国交省の60周年記念として2014年に贈られた、先月別荘から2日家でせり紙が提供されている。家族で制作した浜松市南区の中学生・高木あかりさん(11)は「大徳夫人の花なのでタブレットで撮影しておきました。友達に自慢できるかも」と話していた。

2018年の夏、静岡市金津しりあき園長である松島伸夫さん(87歳)が、浜松市南区政府に「自然や季節を感じる昔遊び」の資料を寄贈した。松島さんは、昔遊びの魅力を語り、子どもたちに「自然の中で季節を感じる遊びをしようよ。」と語りかけた。

浜松市民

ひとこと

原田 しいな

松島さんの遺志継ぎ集い

松島伸夫さん(87歳)が、浜松市南区政府の「自然や季節を感じる昔遊び」をテーマにした「松島さんの遺志継ぎ集い」を開催した。当日は、松島さんの遺志を継ぎたいという思いで参加した。松島さんは、昔遊びの魅力を語り、子どもたちに「自然の中で季節を感じる遊びをしようよ。」と語りかけた。

見守り活動

単位クラブの活動

事業実施主体：『西町シニアクラブ西和会』（町内通学路での登校時の見守り）

事業の概要 (1) 内容	・町内通学路での小・中・高校生の朝の登校を見守った
(2) 活動日	・令和3年4月～令和3年3月の児童の登校日（199日）
(3) 会場	・浜松市南区西町町内の通学路
(4) 参加者	①交流対象者 西町内の小学生 河輪地区の中学生、高校生 ②交流参加者 小16名、中12名、高3名 計31名 延べ6,100名 ③会員参加者数 4名 延べ790名
(5) 講師又は指導者数	延べ 4名
事業の成果と課題	・西町内通学路で毎登校日(約200日間)、朝7時から30分間、児童達の登校を見守った。 ・1年間無事故で活動を終わることが出来た。

※予定していた河輪放課後児童会への支援活動は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今年度も開催を見合わせた。

【活動の様子】

